様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和　８　年　６　月　１８　日

都道府県知事
殿



提出者
住　所　福島県東白川郡矢祭町小田川
字久保５８－５
氏　名　山田鍍金工業株式会社
代表取締役社長　山田浩司
電話番号　０２４７－４７－２１２４

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	山田鍍金工業株式会社　福島工場
事業場の所在地	福島県東白川郡矢祭町小田川字久保５８－５
計画期間	令和８年４月～令和９年３月（１年間）

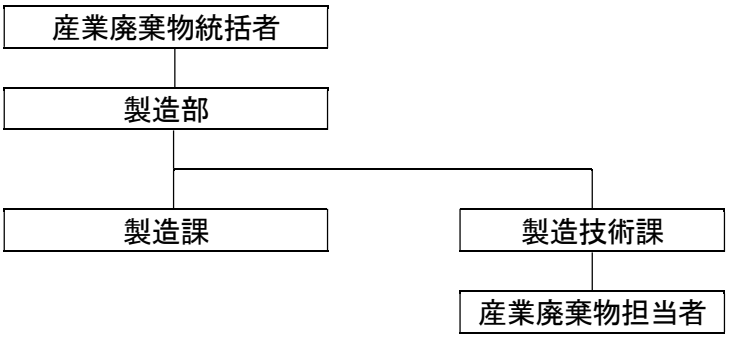
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	金属製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額　　３億円
③従業員数	４７人　（令和７年３月末）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	ニッケルメッキ製造工程：強酸、強アルカリ、強アルカリ有害 亜鉛メッキ製造工程：強酸有害、強酸、強アルカリ 浴更新毎に廃液を全て委託処理

（日本工業規格　Ａ列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和　7　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	強酸有害	強アルカリ有害	強酸	強アルカリ	汚泥（有害）
排　　出　　量	2.6ｔ	11.4ｔ	18.2ｔ	28.8ｔ	0ｔ

（これまでに実施した取組）

工程管理の改善を図り、削減をめざしている。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	強酸有害	強アルカリ有害	強酸	強アルカリ	汚泥（有害）
排　　出　　量	3.0ｔ	12.0ｔ	20.0	30.0ｔ	0ｔ

（今後実施する予定の取組）

今後も工程管理の改善を図り、削減をめざし無駄な廃液を発生させないように努めます。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

それぞれ適応した浴槽にて分けて管理している

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

特になし

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="2">【前年度（平成　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="2">【前年度（平成　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項				
①現状		【前年度（平成　　年度）実績】		
		特別管理産業廃棄物の種類	―	―
		自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
②計画		【目標】		
		特別管理産業廃棄物の種類	―	―
		自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
① 現状	【前年度（令和　7　年度）実績】					
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸有害	強アルカリ有害	強酸	強アルカリ	汚泥（有害）
	全処理委託量	2.6ｔ	11.4ｔ	18.2ｔ	28.8ｔ	0ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	2.6ｔ	11.4ｔ	18.2ｔ	28.8ｔ	0ｔ
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	（これまでに実施した取組） 優良認定処理業者へ委託している					

	②計画		【目標】					
		特別管理産業廃棄物の種類		強酸有害	強アルカリ有害	強酸	強アルカリ	汚泥（有害）
		全処理委託量		3.0 t	12.0 t	20.0 t	30.0 t	0 t
			優良認定処理業者への処理委託量	3.0 t	12.0 t	20.0 t	30.0 t	0 t
			再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t
			認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t
			（今後実施する予定の取組） 環境面も考慮しながら無駄な廃棄物を出さないように努めます。 優良認定処理業者へ引き続き委託します。					
※事務処理欄								

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

８　※欄は記入しないこと。